

城影

2023年 6月号



発行 姫路市立城内図書館

兵庫県姫路市本町68-258

電話 079-289-4884

トライやる・ウィーク実施中

城内図書館および各分館では、今年も「トライやる・ウィーク」活動として、中学2年生が図書館のさまざまな仕事を体験します。期間中は図書館窓口で中学生が対応することもあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

5月30日(火曜日)から 6月2日(金曜日)まで

夢前中学校(城内図書館) 東光中学校(東光分館)

山陽中学校(手柄分館) 安富中学校(安富分館)

6月6日(火曜日)から 6月9日(金曜日)まで

網干中学校(網干分館) 城山中学校(花北分館) 安室中学校(安室分館)

広畑中学校(広畑分館) 白鷺小中学校(手柄分館) 香寺中学校(香寺分館)

2学期にも
あります♪



夏休み一日図書館員募集

※詳細はポスター・チラシでご確認ください。

- 内容 本の貸出・返却など、図書館の仕事を体験します。
- 日時 令和5年8月4日(金曜日) 午前9時45分から12時00分まで
- 場所 城内図書館・各分館(白浜・東を除く)
- 定員 城内図書館は4名・分館は各2名
- 参加資格 姫路市内の小学校5・6年生で、きちんと仕事ができる人。
昨年、一日図書館員をした人は、応募できません。
- 応募方法 令和5年6月16日(金曜日)から7月9日(日曜日)まで
上記期間に城内図書館および各分館において応募用紙を配布します。
窓口にお申し込みください。電話での受付はいたしません。申込み多数の場合は抽選し、
7月21日(金曜日)までに、城内図書館から通知の文書を発送いたします。
- 問い合わせ先 姫路市立城内図書館 電話 079-289-4884

東分館は改修工事のため長期休館します

期間：令和5年(2023年)6月1日(木曜日)から令和6年(2024年)3月末日まで(予定)
ご迷惑をおかけしますがご理解ご協力をお願いいたします。

6月・7月 図書館カレンダー (■が休館日)

6月 June 水無月						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
	■			1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

分館						
日	月	火	水	木	金	土
	■			1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

7月 July 文月						
城内図書館						
日	月	火	水	木	金	土
	■					1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

分館						
日	月	火	水	木	金	土
	■					1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

※白浜分館は令和5年8月末(予定)まで休館

[部活]を読む part 2

[部活]、それは青春の日々。これから何かに取り組みたい人、かつて何かに熱中したことがある人へ、[部活]を読む part1 で紹介しきれなかった「部活小説」をお届けします。

[放送部]『ブロードキャスト』

(湊かなえ/著 KADOKAWA)

中学は駅伝で活躍した圭祐だったが、交通事故にあい、高校では陸上部入部を断念した。脚本家志望の同級生宮本に「ひと声ぼれした」と放送部に誘われて入部するが、陸上への未練を断ち切れずにもいた。そんななか宮本がコンテスタのラジオドラマ部門への参加を表明し、圭祐は主役を演じることになる。続編に『ドキュメント』がある。



[野球部]『大連合』

(堂場瞬一/著 実業之日本社)

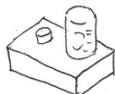
事故で半数の部員が重傷を負った里田の高校と、不祥事で大半の部員が退部した尾沢の高校。2校とも甲子園を目指せるだけの実力はあったが、夏の大会に出場するには部員数が足りなかった。事故のニュースを聞いた尾沢は、不謹慎にもチャンスとばかり、2校連合チームで夏の大会に出場する計画をたてる。果たして連合チームは甲子園にいけるのか？



[クイズ研究会]『バンチョ高校クイズ研』

(蓮見恭子/著 集英社)

かつて高校・大学とクイズに耽溺した鈴木慎太郎は、教師となって母校に帰ってきた。しかし母校にはすでにクイズ研究会はなくなっていた。いまだクイズへの情熱冷めやらぬ慎太郎はクイズ研究会を発足させ、目ぼしい生徒を勧誘し始める。



[ハンドベル部]『誰がために鐘を鳴らす』

(山本幸久/著 KADOKAWA)

廃校が決定している高校のラストイヤー。音楽準備室で見つけたハンドベルを錫之助がたまたま鳴らした。そんな偶然が、男子高校生4人にハンドベル部を創設させた。性格も考え方もバラバラな4人と顧問の先生5人で鳴らすベルが、次第に彼らの中で絆となって大きくなっていく。



[華道同好会]『ひゃっか!』

(今村翔吾/著 文響社)

春乃はかつて花屋を営んでいた祖母を喜ばせたいと、全国高校生花いけバトルに出場を望んでいた。ただし二人一組というルールに対し同好会は春乃ひとりきり。一緒に出場してくれるパートナーすらいなかった。そんなとき転校生が経験者と知り勧誘をするが…



[吹奏楽部]『風に恋う』(額賀濤/著 文藝春秋)

「歌うお茶メガネ」の異名をとるアルトサクソフの基。高校では帰宅部のつもりだったのが…。

[カヌー部]『君と漕ぐ』全5巻

(武田綾乃/著 新潮社)

恵梨香と舞奈が入部したことにより、ながとろ高校カヌー部に新風がまきおこる。

[俳句部]『南風吹く』(森谷明子/著 光文社)

俳句のお膝元、愛媛の高校生なら俳句甲子園を目指すべき！日向子の熱意が周囲をまきこむ。



[弓道部]『凜として弓を引く』1,2巻

(碧野圭/著 講談社)

たまたま通りがかった神社の射場で弓道を目撃したことで楓は弓道に興味をもつも、高校ではテニス部と決めていた。ところが先輩たちとの軋轢で結局テニス部を早々に退部してしまい、成り行きだが弓道会に入会することになる。

[部活]にかける青春の数々。読めば胸が熱くなってきます。

本で[部活]を堪能してみませんか？

(青田)

図書案内

『6カ国転校生ナージャの発見』

キリーロバ・ナージャ/著 集英社 (372-キ)

この本は、ソ連（当時）に生まれたナージャの、ロシア、日本、イギリス、フランス、アメリカ、カナダの学校に転校した体験記です。

たとえば日本の中学校では、答えは間違っていないのに数学のテストが全部×になってしまうという体験をします。ナージャが抗議すると、7に横棒を付ける書き方では正解にできないというのです。ヨーロッパではかなり主流な書き方で、他の国でも数字が読めれば問題にならなかったのに、日本ではフォントのように同一の書き方を求められたのでショックを受けました。

普通だと思っていたことが転校するたびにコロコロ変わり、「誰かの正解」が「自分の正解」でないことに気づきます。「絶対的な正解」をみんなで探すのではなく、一人一人の「正解」をみんなで見つけていくしかない、それが6カ国を転校したナージャのいちばんの発見です。

正解はない。違いがあるだけ。世界の見方を変えてくれる1冊です。

(高濱)

今月の子どもの本

『チャンス はてしない戦争をのがれて』

ユリ・シュルヴィッツ/作 原田 勝/訳 小学館 (93-シ)

1939年9月1日、ドイツ軍の爆撃機がポーランドの首都ワルシャワを攻撃しました。逃げ惑う人々と跡形もなく破壊されたペンキ工場の瓦礫。4歳の少年ウリ（ユリ）が見た最初の戦争の記憶でした。

その後、ユダヤ人だったウリの一家は、ドイツに侵略されたポーランドからソヴィエト連邦に避難することを決意します。命がけでポーランドから逃れたウリと両親でしたが、それは、想像を超えた苦しい難民としての暮らしの始まりでした。爆撃、飢え、寒さ、迫害、病気、次々とおそってくる困難の中で、ウリの心を支え続けたのは、母親の語ってくれる「物語」と「絵を描くこと」でした。ウリは、どんな時も絵を描き続け、絵を描く道具がない時には、指で空中に描きました。

本書は、画家で作家のユリ・シュルヴィッツが第二次世界大戦中に難民として暮らした少年時代の日々を作者自身のイラストとともに綴ったものです。大人になったウリは、多くの絵本を描き、やがてその絵本は世界中の子どもたちを楽しませることになりました。

小学高学年から。

(難波)